

JR東海労なごや

2011年11月4日 No 880
JR東海労名古屋地方本部
発行者：山田哲也
編集者：堀部肇

本人は逃げも隠れもしない、脱退理由は明確にしている！

組織情報No.7の悪意に満ちたデマ宣伝に抗議する

事実を伝えていない東海ユニオン組織情報

JR東海ユニオンは、10月26日発行の「組織情報No.7」で、またもや悪意に満ちた悪宣伝を繰り返しています。この間、一貫して、私たちは本人も含め正々堂々と対応しています。

脱退理由も誰にでもわかるように、ホームページで明らかにしています。

一度ならず公開討論は二度も拒否

さらに、JR東海ユニオン役員は、私たちからの公開討論の呼びかけに対して、応じようとはせず組織情報では「東海労組合員の横やりが入って話しができなかった。」「彼の真意を確かめられなかった。」など全く事実と異なる情報を発行し、嘘と誹謗中傷を繰り返すことを唯一の取り組みとしています。御用組合JR東海ユニオンの姿がハッキリ見えてきます。

本人の名誉のためハッキリ言おう、私たちは逃げも隠れもしない

私たちは、このような事実と反するデマを繰り返すJR東海ユニオンに対し、10月31日抗議文をJR東海ユニオン名古屋地本事務所に届けました。

対応に出たJR東海ユニオンの書記は、一旦部屋へ戻り、しばらくして「役員はいま外出中」と答え、ユニオン役員は出てきませんでした。

ここでも堂々と対応せずに、居留守を使ったようです。

組合員を守るより会社利益を優先する、

JR東海ユニオンでは組合員は守れない。